

⑤ 卒業要件が記載された冊子（「履修要項」、「学習要項」、「卒業資格履修単位一覧」等）

⑥ 専門教育科目の授業時間割

〈インターネットに接続されたパソコン〉

自宅・下宿に利用可能なパソコンがない場合は、学内の総合情報処理センター、附属図書館、各学部の共用施設などのパソコンを使用してください。

ユニパを利用するには、ログイン画面に掲載されている、「履修登録の手順について」および推奨ブラウザをよく確認してください。履修申告を完了したつもりでも、ユニパの扱いを誤っていると、正しく履修登録がされていないことがあります。

## 1. 2 理解すべき事項

- ① 自分の学籍番号 →参照) 前節 1. 1 準備すべきもの 学部からの配布物④
- ② 卒業・進級に必要な単位数 →参照) 前節 1. 1 準備すべきもの 学部からの配布物⑤
- ③ 教養教育科目の分類 →参照) 第 1 部 教養教育科目について
- ④ 教養教育の履修単位 →参照) 第 3 部 VI 学部・学科の履修単位表
- ⑤ 履修申告上の注意 →参照) 次節 1. 3 履修申告上の注意 **【重要】**

## 1. 3 履修申告上の注意 **【重要】**

### (1) 単位認定される授業科目

第 3 部 II 教養教育授業科目一覧に記載されている授業科目が単位認定され、成績通知書等に記載されます。

→参照) 第 3 部 II 教養教育授業科目一覧

同じ授業科目を 2 回以上履修し、単位を修得しても、卒業要件を満たす単位数として取り扱われるのは、各授業科目の 1 科目（1 授業テーマ）の単位数のみですので、注意してください。ただし、「英語 I」、「英語 II」、「異文化理解 II」については、同じ授業科目を 2 回以上履修し、単位を修得した場合、2 単位まで卒業を満たす単位数として取り扱われます。

キャリア教育領域科目、教養統合科目では、1 つの授業科目の中に、異なる授業テーマを持つ、複数の授業が開講されているものがあります。授業テーマの異なる同一授業科目を複数履修する場合、卒業要件を満たす単位数として取り扱われるのは、1 科目（1 授業テーマ）の単位数のみであることに、特に注意してください。

→参照) 次節 (2) 授業科目の重複履修

### (2) 授業科目の重複履修

同じ授業科目を 2 回以上履修し、単位を修得することを重複履修といいます。単位を修得できなかった授業科目を再度履修する場合は、再履修となり、重複履修とはなりません。

教養基盤科目のうち、「英語 I」、「英語 II」、「異文化理解 II」については、通常の履修申告手続きのみで、2 回（2 単位）まで重複履修が可能です。

アクティブ・ラーニング領域科目、キャリア教育領域科目、教養統合科目について重複履修を希望する場合は、所定の手続き期間に、教養教育事務室において別途手続きをしてください。

重複履修をした授業科目の単位認定については、前述の通りです。

→参照) 前節 (1) 単位認定される授業科目

### (3) 授業コード

「教養教育授業科目時間割表」にはアルファベット L と 4 ケタの数字からなる「授業コード」